

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 高知県

本事業の担当部局名 子ども・福祉政策部子育て支援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	高知県出会い・結婚支援事業					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度	令和2年度		
総事業費(A)(円)	46,892,728	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	3,000,000	差引額(A-B)(円)	43,892,728		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	43,892,728						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	805,400	0	108,000	128,000	591,100	937,270
	対象経費支出予定額	805,400	0	108,000	128,000	591,100	937,270
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	44,169,288	153,670	0	0	0	46,892,728
	対象経費支出予定額	41,169,288	153,670	0	0	0	43,892,728
	対象外経費支出予定額	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 本県においては、少子化対策を「高知県元気な未来創造戦略(以下、「創造戦略」という)の中に位置づけ、「若者の定着・増加」と「婚姻数の増加」による「出生数の増加」により、若年人口の減少傾向に、4、5年後までに歯止めをかけ、おおむね10年後には現在の水準まで回復させることを目指す。</p> <p><本個別事業の位置付け> 創造戦略の「政策2 結婚の希望をかなえる」の基本的方向として、出会いや結婚を後押しする「出会いの機会の創出」と「結婚支援の推進」に位置付け、施策として実施するものである。</p>						
番号	項目	内容					
1	市町村勉強会の開催	<p>県は勉強会を主催し、市町村は出会い・結婚支援事業への理解を深めるとともに自治体間連携について検討するなど、県・全34市町村と連携して対策に取り組む体制を構築する(協議会の設置)。 また、全34市町村と県の取組を共有し、課題認識や他の自治体の取組内容を情報共有する場(協議会)を設定することにより、各市町村の子育て支援等の取組の充実を促すとともに、自らの取組を見直す機会とする。 (市町村勉強会:34人(34市町村)×3回=延べ102人) なお、この市町村勉強会開催に併せて、結婚新生活支援事業の事業拡大及び今後の取組推進に係る連携方策について議論する場を設け、現在活用している市町村の事例共有等を行いながら、横展開を図る。 さらに本会にはコンシェルジュも参加し、市町村から聞き取った内容(地域の実情、結婚支援の課題、取組方針)を、市町村に共有する。</p>					

2	「高知で恋しよ!!応援サイト」システム改修及び出張登録閲覧会・相談会の開催	<p>マッチング率の向上に向けて、以下の取組を行う。</p> <p>①登録期間コース設定追加 マッチング会員登録料は2年間で10,000円のところ、「2年間は長い」等の声や、会員の活動鈍化ピークが6ヵ月後にあることから、20～30代を対象に「3,000円/6ヶ月コース」を新たに設定する。</p> <p>②ゆずれない項目 女性のマッチング会員数が減少傾向(R5.9:252人⇒R6.9:214人、R5.10～R6.9の女性登録者数111人、R5.10～R6.9の女性退会者数117人)にある。この一因として、「女性が希望している年齢以上の男性が、当該女性にお引合せを申し込んでいる(申込数に対する希望年齢上限からの申込率40.4%、希望年齢上限からの申込数に対する成立数1.8%)」ことにより、女性が疲弊して登録解除することが推測される。そこで「結婚相手に対するゆずれない条件」を1つ提示し、申込側が合致しない場合、検索結果に反映されないようにすることで、申込まれ側の負担を軽減させる。 なお本改修は年齢以外の要件(年収、喫煙等)も選択可とする。</p> <p>③マイナポータル連携機能拡充 新規登録・更新には、本籍地役場発行の独身証明書が必要だが、「市役所に行くのが恥ずかしい(心理的ハードル)、行く時間がない(時間的ハードル)」等の問題や、手間がかかるため、更新せずに退会する可能性がある。このため、マイナポータルとの連携により、独身証明書の提出を簡略化し、問題を解消する。</p> <p>④自己PR文字拡張対応 記載文字量を200文字から700文字に増やし、より相手に選ばれやすい詳細なPRの作成を可とする。</p> <p>なお、各取組について、自治体間連携に取り組む市町村と連携して実施する。 ・マッチングシステムの出張登録閲覧会・独身者相談会の合同開催(年10回) 【連携先:安芸市・南国市・土佐市・須崎市・土佐清水市・香南市・香美市・いの町・越知町・四万十町は、会場の手配・来庁相談者等への直接的な周知を実施し、職員の人件費・会場借上費を負担】</p>
3	婚活の前段階である仲間づくりイベントの開催(社会人交流事業、企業間交流イベント)	<p>○ 社会人交流事業 コロナ禍において出会いや交流の機会が減少している若い世代に対し、興味関心に応じて集い、ライフプランも学べるハードルの低い出会いの機会として、マッチングのない「社会人交流事業」を開催する(年13回開催参加者数計680人)。体験型イベント実施にあたっては、企画・運営を民間事業者へ委託し、参加者同士の円滑な交流や連絡先の交換がしやすい環境づくりを支援する。 イベントと有機的に連携する取組として、イベント前のアイスブレイクとなるようなライフプランセミナーを実施し、体験型のイベントと併せて若い世代の交流の活性化や、うち出会いサポートセンターのパンフレットや広報グッズ、県作成の子育て支援等リーフレット(出会い・結婚・妊娠・出産、子育て、ワークライフバランスに関して、国や県の制度を紹介したもの)を配布し、県の婚活支援事業を周知する。これにより、様々なライフプラン設計の一つとして、結婚・妊娠・出産の機運醸成を図り、婚活事業への登録を促進する。 また、県はイベントを実施し、市町村は県イベント内容の提案または助言(時期、会場への交通手段、混み具合など)を行うなど、県・市町村で連携して実施する。 ・会場の使用申請 ・資機材等の貸出・提供 ・庁内および企業・団体への広報 【連携先:安芸市・土佐清水市・香南市・香美市・奈半利町・安田町・四万十町・黒潮町は、会場の紹介、イベント内容の企画提案に参画し、それに伴う職員の人件費を負担】</p> <p>○ 企業間等交流イベント(年5回、参加者計100人) 結婚支援コンシェルジュの働きかけにより、出会いや交流の機会が減少している企業の若手職員等に対し、企業として参加させやすくマッチングのないイベントや、ライフプランの設計や企業の内容に関係のあるもの等、セミナー付きの交流会を開催し、若い世代の交流の活性化を図る。また、うち出会いサポートセンターのマッチングシステムやイベントを紹介し、結婚を希望する参加者への登録促進や、将来結婚を希望した際の選択肢の一つとなるよう周知を行う。 【連携先:安芸市・土佐市・いの町・四万十町・黒潮町は、対象となる若者が居る地元企業や業界団体等への声掛けを実施し、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
4	県事業(イベント・マッチング・婚活サポーター)の利用に伴う広報	<p>過去の広報物から、周知の容易さと効果をもとに、広報手段を絞る。また、印刷物系統(下記①～⑤)はSNSやホームページへの誘導のために利用する。 また、市町村において、県の広報媒体を活用して住民に周知してもらうなどの連携を行う。 広報媒体:①出会い支援事業パンフレット、②二つ折りカード、③ポケットティッシュ、④ポスター、⑤チラシ、⑥SNS広告(Instagram、Youtube)、⑦SNS運用(Instagram)</p> <p>(1) 広報の目的: 出会い・結婚支援事業の認知度向上、独身者等への活用促進 (2) 訴求対象者: 独身者及び独身者の親や支援者等 (3) 当該広報媒体の選定理由 ①～⑤ 市町村・企業・イベント会場等で、広域かつ幅広い年代への配布ができる。 ⑥、⑦ SNSを通じて幅広い世代に、イベントやキャンペーンの情報を発信できる。 (4) 広告スペース及び掲載回数 ①～⑤ ⑥ 動画作成15秒、⑦ 月9回投稿。うち動画(月1本程度) (5) 想定リーチ数 ⑥ 下記のとおり Instagram: 31.5万回 YouTube: 15.75万回 (6) 広報物の作成部数と配付先 ① 1,000部 配布先: 応援団等企業、市町村、県・センター ② 30,000枚 配布先: 応援団等企業、県・センター ③ 10,000個 配布先: 応援団等企業、サポーター、県・センター ④ 500部 配布先: 応援団等企業、コンビニ、市町村、サポーター、県・センター ⑤ 15,000部 配布先: コンビニ、市町村、サポーター、県・センター 【連携先: 高知市・土佐清水市・香美市・安田町・本山町・いの町・日高村・四万十町・黒潮町は、自市町村で実施するイベントの参加者に直接声掛けし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>

5	<p>サポーター(婚活サポーター・サブサポーター・マッチングサポーター)研修の開催(養成講座・スキルアップ研修)</p>	<p>○ サポーター養成講座 サポーター制度の内容、活動の流れ、相談時の注意事項等を記載したパンフレットを活用し、婚活サポーターが独身者や子どもの結婚を望む親等から相談を受けた際に制度の説明資料として用いるとともに、婚活サポーター制度の広報資料として用いる。 特に、独自の婚活サポーター登録制度や、県婚活サポーターを活用した独自の相談窓口の設置、県の実施する養成講座を活用した婚活サポーターの登録を行っている市町村については、自治体間連携により、積極的に養成講座を実施するとともに、協議会、交流会への参加を促す等、県内全域にわたるサポーター活動の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布先：婚活サポーター・サブサポーター1部×240人＝240部、県(新規勧誘分)160部 ・実施回数等 4回以上開催、参加者10人程度/回 <p>なお、県は養成講座を主催し、市町村は以下の対応を行うなど、県・市町村とで連携して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場使用申請 ・自治体職員による講座内での自市町村の結婚支援事業(結婚新生活支援事業含む)の紹介 <p>【連携自治体：四万十市は、会場の手配や講座内での事業紹介を行い、それに伴う職員の人件費・会場借り上げ料を負担】</p> <p>○ スキルアップ研修 サポート活動の研鑽にあたる研修を実施する。また、県登録のサポーターだけでなく市町村独自で登録されているボランティアも対象として、受講できるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数等 2回開催、参加者80人(婚活サポーター60人、マッチングサポーター20人) <p>【連携自治体：四万十市は、会場の手配を行い、それに伴う職員の人件費・会場借り上げ料を負担】</p> <p>○ 広報 民生委員、自治役員、JA女性部会員、教職員・県職員OB、市町村職員等に参加の呼び掛けを行うとともに、市町村と連携して人材発掘に努める。また出前型、オンライン型での養成研修の実施により、受講者の利便性の向上とサポーター不在地域での登録を進める。</p> <p>【連携自治体：安芸市、四万十市は、管内の関係者に声掛けし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
6	<p>サポーター活動活性化事業</p>	<p>サポーターの活動状況について情報交換等を図るため、サポーター交流会の開催(県内3ヶ所での地区別交流会や全体交流会)や、サポーター通信の発行等を実施する。</p> <p>また、婚活サポーター連絡協議会において、各地区ごとの意見を集約するなど、全県規模での情報交換の場を持つ。協議会には、各地区の組織代表が参画し、①相談事例への対応策などの検討、②相談者情報の交換、③サポーター同士の交流、④出会いイベントの実施、⑤サポーター登録の勧誘活動等の議論を行う。</p> <p>今後も、サポーター・相談者数や、相談者のお引き合わせ数の増加のための具体的な対策について、より地域に密着した支援の検討を重ねるため、婚活サポーターに対して、全県的な成婚率増加に対する課題や支援の取組について共有する。</p> <p>さらに、市町村において、婚活サポーターの成り手を県に紹介するなど、人員確保について連携を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別交流会 3地区(東部・中部・西部)各1回開催、参加者計50人 ・全体交流会 1回開催、参加者50人(婚活サポーター30人、サブサポーター20人) <p>【連携自治体：安芸市、四万十市は、会場の手配や成り手の紹介などを行い、それに伴う職員の人件費・会場借り上げ料を負担】</p>
7	<p>婚活サポーター連絡協議会の設置及び運営</p>	<p>組織的に活動するサポーター団体は県中部地区のみであったが、平成30年に西部・東部地区でも団体を設置した。平成31年2月には、県内3地区の代表による「高知県婚活サポーター連絡協議会」を創設し、各地区団体での活動の情報共有や情報交換を行っている。さらに、令和5年度からは新たに3団体のサポーター団体が加入している。しかし、令和6年度からは3団体が解散・活動休止している。</p> <p>また、各地区団体においては定期的に交流会(サポーター同士、独身者同士)や出会いイベントを開催するなど婚活サポーターが自ら組織的に活動する形が出来上がってきているため、引き続き本協議会の運営を行う。</p> <p>さらに、市町村において、婚活サポーター制度や活動団体等を住民に周知してもらい、人員確保について連携を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活サポーター連絡協議会の運営 1回開催 ※連絡協議会団体：3団体 <p>【連携自治体：安芸市、四万十市は、成り手の確保・紹介などを行い、それに伴う職員の人件費を負担】</p>
8	<p>メタバース婚活</p>	<p>株式会社日本総合研究所における未婚者の婚活に対する調査では、未婚者の34%が「結婚したくない」、35%が「結婚したいが、婚活をできていない・していない」と回答している。前者(非婚層)は「まだ結婚は先だと思ふ」という考え方や、生活面の制約等(まだ趣味に時間を費やしたい)が、後者(未婚層)は「心理・時間・距離等の制約により、結婚に向けた活動をしていない」との回答をされている。</p> <p>また、高知県が実施した「令和6年度 出会いから結婚・子育てまでの切れ目ない支援のための県民意識調査(以下、『県民意識調査』という。)」では、「結婚していない理由」と言う質問に対し、「適当な相手にまだめぐり合わないから」を挙げた回答者は37.2%と最多であった。</p> <p>これらをふまえ、メタバース(仮想空間)プラットフォームを活用したイベントを開催する。これにより、『結婚したくない層(非婚層)』、『結婚に向けた活動をしていない層』に対して、心理的・物理的・時間的なハードルが低く、若い世代の興味を惹く婚活イベントが実施できる(目標動員数90人)。</p> <p>また、このメタバース空間は、マッチング・イベント会員向けのコミュニケーション講座(参加者同士とのコミュニケーション)や社会人交流事業参加者のトークルーム(イベント実施前後におけるトーク)にも活用することで、マッチング・イベント会員の魅力度向上や若い世代の交流の活性化にも期待できる。</p> <p>さらに、市町村において、メタバース婚活イベントを住民に周知してもらい、参加者の確保について連携を行う。</p> <p>【連携先：高知市・土佐清水市・香美市・安田町・本山町・いの町・日高村・四万十町・黒潮町は、自市町村で実施するイベントの参加者や窓口相談のあった独身者に直接声掛けし、それに伴う職員の人件費を負担】</p>

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

【課題】

- ・県民意識調査より、出会い・結婚支援に関する事業は約7割が「知らない」との回答を得た。
- ⇨「将来結婚したいと思うか」という質問に対し、約5割が「いずれは結婚したい」との回答を得ている。
- ・マッチング会員数の減少により、お引き合わせ申込数・成立数・交際数が頭打ちになる。
- マッチング会員や若い世代の声より、「登録期間2年は長い」「自分が自己PR文に書いている希望に合わないお相手からお引き合わせを申し込まれる」「独身証明書の取得が困難」との声を聞いている。
- ・社会人交流事業においては、参加者の9割が満足している。県民意識調査においても、「出会いや結婚に関する必要な行政支援」として44.6%が「出会いを直接の目的としない他職種での交流の機会の充実」と回答している。

【取組】

- ・マッチング会員や若い世代の声に寄り添ったシステム改修(個別事業2)およびイベント事業(3、8)
- ・過去の実績からより効果のあったものに限定した広報の実施(個別事業4)

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.7(R7)	1.30(R5)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合		%	50(R7)	23.8(R6)
	①理想的なこどもの人数②現実を持ちたい子どもの人数		人	双数値の上昇・ 双数値差の縮小 (R7)	①2.03(R6) ②1.71(R6)
	平均初婚年齢(夫・妻)		歳	年齢低下(R7)	夫31.3歳(R5) 妻29.9歳(R5)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.30(R5)	
	婚姻件数		件	1,985(R5)	
	婚姻率			3.0(R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	マッチング会員登録者数(R7年度)	人	450	262(R6.4~12)
	②	出張登録閲覧会・個別相談会の参加者数	人	100(R7)	81(R6)
	③	社会人交流事業・企業間等交流イベント・メタバース婚活参加者数	人	(社)600 (企)100 (メ)230 (R7)	(社)288 (企)58 (R6.12)
	④	婚活サポーター・婚活サブサポーター・マッチングサポーター登録者数	人	婚サポ100 サブサポ50 Mサポ100 (R7)	婚サポ84 サブサポ24 Mサポ89 (R6.12)
	⑤	サポータースキルアップ研修参加者数	人	100(R7)	38(R6.12)
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	○ マッチング70(R7) ○ 婚活サポーター70(R5) ○ 社会人交流事業95 ○ 企業間等交流事業100	○ マッチング47(R5) ○ 婚活サポーター40(R5) ○ 社会人交流事業83.7(R6.9~12) ○ 企業間等交流事業98.3(R6.8~12)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80	——
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	マッチングシステム閲覧回数	回	20000	19,078(R6.12)
	⑤	マッチングシステムお引き合わせ申込み数	件	2,000(R7)	1,756(R6.4~12)
	⑥	マッチングシステムお引き合わせ成立数	件	400(R7)	247(R6.4~12)
⑦	社会人交流事業・企業間等交流事業・メタバース空間における交流における連絡先等を交換した人の割合	%	(社)60 (企)50 (メ)50 (R7)	(社)49.0 (企)41.4 (R6.9~12)	
⑧	サポータースキルアップ研修後に意識変容・行動変容が見られる参加サポーターの割合	%	100(R7)	76.3(R6.12)	